**鳥海山山行**

**日時　平成24年8月8日～9日**

**場所　秋田県、山形県**

**参加　計5名**

**8月8日**

**電車は始発4:55で出発。東京から6:08のMAXとき301号に乗車。新潟で特急いなほ1号に乗り換え酒田に10:39に到着。そこでＡさんが車で待っていてくれ鉾立まで車で移動。あいにくの天気で鳥海山は4すっぽり雲に隠れた状態だ。鉾立で昼食後出発。間もなく雨が降り始めた。カッパを装着し出発開始12:30、14:45に御浜小屋に到着。途中山の上の方から一団がゆっくりと下山してくる一向にであった。最初は小学生の一行と思っていたが近づくに従って全体像が鮮明になり、小学生に一行ではなく、救助隊の一団で遭難者を担架に乗せゆっくりと下山してくるところであった。あとでわかったことであるが、新山の岩登りで怪我をして歩くことが出来なくなったとのことである。最近は毎日怪我人が発生していると言っていた。小屋に到着したが天候はあまり回復せず明日の天候が危ぶまれた。夕食後すこし経た後に天候の回復が見られ、鳥海山の頂上も見ることが出来るまで回復した。山小屋は雑魚寝スタイルで畳の上に自分で毛布を借用しそれを敷き詰めて寝床を作り就寝した。使用できる水はなく歯磨きも洗面もできない。おまけにダニと思われる虫に喰われ、1名は瞼がはれ上がり、3名は耳タブをやられ腫れ上がった。衛生的に問題がある山山小屋との印象**

**8月9日**

**3時ごろトイレに起きたが天気は回復していた。星も見え、頂上も伺えた。4:30起床、5:00朝食、5:30出発、目まぐるしく準備を整え出発、Ｂさんは体調が優れずすこし行ったところで登頂を断念し小屋で待つことになった。天気はからりと晴れた状態ではないが、それでも昨日と比べれば大変な変わりようである。七五三掛に6:30に到着。付近はお花畑で多くの高山植物が咲き乱れていた。大物忌神社御室に8:15到着、そこにザックをおき、新山の登攀を開始。岩山でかなりのキツイガレ場を登る必要があり、家内はよくついてきたと感心した。8:55に新山頂上に到着。帰路は左サイドの途を選択したところ比較的易しく下山することが出来た。途中雪渓がまだ多く残っていた。Ｂさんが待っていることもあり、下山を急いだ。尾根沿いの道を下山することにし、行者岳、文殊岳を経て七五三掛の分岐に11:10到着、御浜小屋には12:07に到着した。予定は12:00であったのでほぼ計画通りの山行であった。昼食後下山を開始した。少しずつ天候が怪しくなってきた。12:45に御浜小屋を出発し、鉾立に14:00に到着、到着と同時に大粒な雨が降り始めた。幸運であった。Ａさんの自家用車で近くの町営の入浴場でゆっくりと入浴し、2日間水が全く使用できなかった借りを返した。入浴場を15時ごろ出発し5人がＡさんの乗用車に乗り帰路についた。自宅には23:30頃着。**